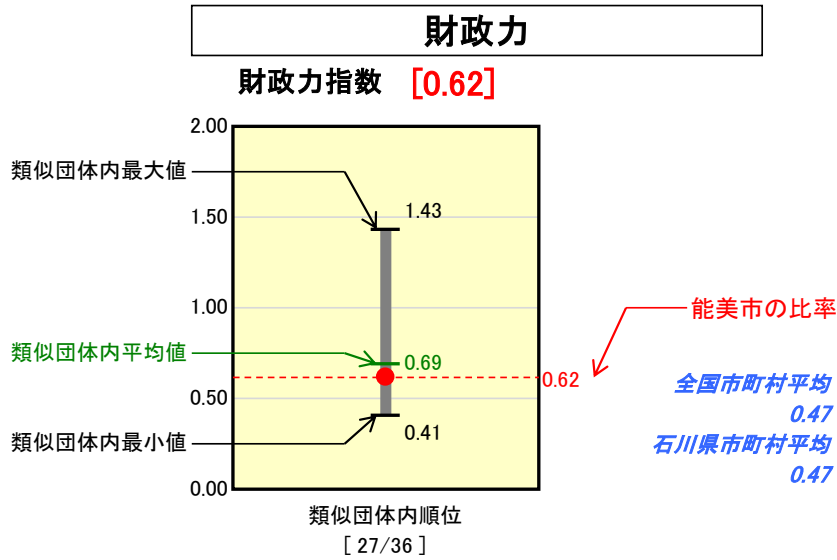
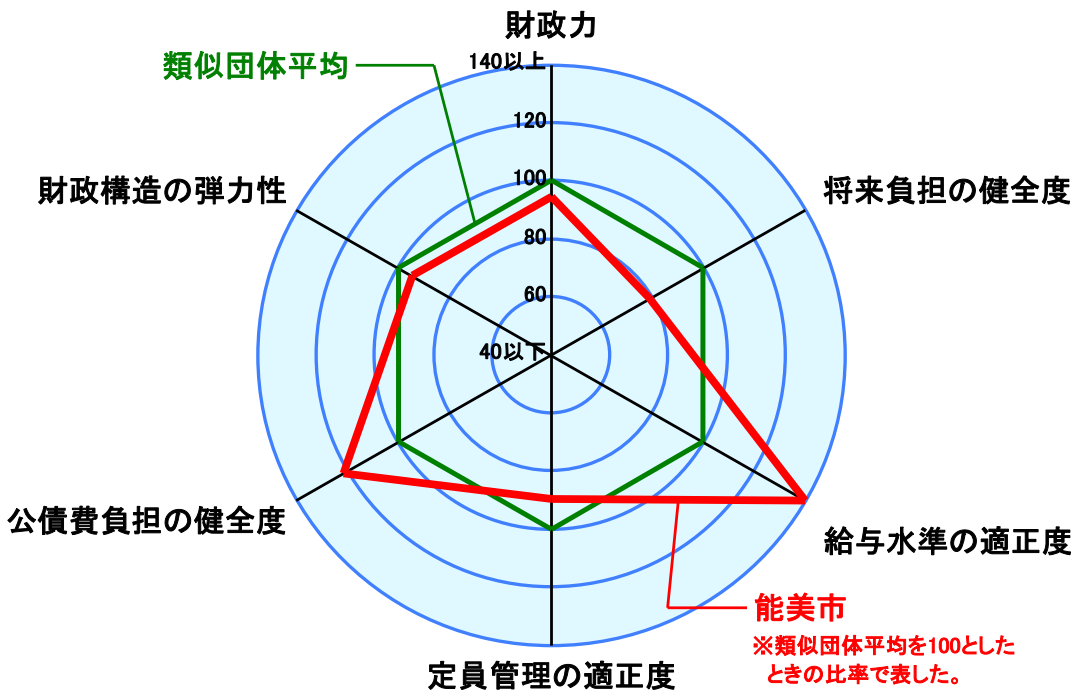


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)



石川県 能美市

人口	47,209 人(H17.3.31現在)
面積	83.85 km ²
歳入総額	25,057,933 千円
歳出総額	23,871,134 千円
実質収支	948,481 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数

・類似団体平均を下回るものの、人口増加等により収収額が着実に伸び、あわせて財政力指数も、ここ数年は連続した伸びを見せている。市北部の工業団地に、機械製造業の進出も重なり、今後の法人市民税収にも期待ができる。

経常収支比率

・扶助費、公債費の義務的経費や特別会計への繰出金の増嵩により、比率は年々悪化している。新規採用の抑制(退職者数の1/2を補充)や地方債の積極的な繰上償還を実施することで、後年度の財政負担を軽減するとともに、「集中改革プラン」に基づく事業の抜本的な見直しに着手し、義務的経費の一層の圧縮を図る。今後は、公共施設の統廃合も検討し、行政効率の向上を図る。

ラスパイレス指数

・類似団体の中では一番低く、財政の健全性を判断するうえでの重要な指標となっている。今後は、能力給等の導入により職員のやる気を引き出し、職員研修を充実させ、資質の向上に努める。

起債制限比率

・財源措置のあるもののみ起債を発行することとし、その他については綿密な財源計画をたててから事業に着手するなど、計画的な財政運営に努めてきたことにより、類似団体の平均を大きく下回っている。

人口1人当たり地方債現在高

・近年の大型建設事業により、ここ数年で急増している。今後控えている事業計画については、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

人口1,000人当たり職員数

・平成17年4月1日から平成22年4月1日までの定員について、新規採用を抑制し、過去5年間の全国自治体の削減率の平均である4.6%を目標とし、平成22年

